

# 不都合な海事潮流

平成19年03月09日

海友フォーラム 第1回懇談会

岡本 洋

海友F 2007.3.9 岡本 洋

# 海事の円環

海上荷動き

Offshore Energy  
開発・生産

港湾

海洋機器

海運

造船

不都合な海事潮流

## 造船関連分野

### 国際規則関連

IMO体制強化の流れ

船級協会の退潮とギリシャ船主系政治力

潜在的な板厚増、塗装強化への圧力

政略的優勢と合理的従属

### 企業関連

人材誘因魅力低下と学生ばなれ

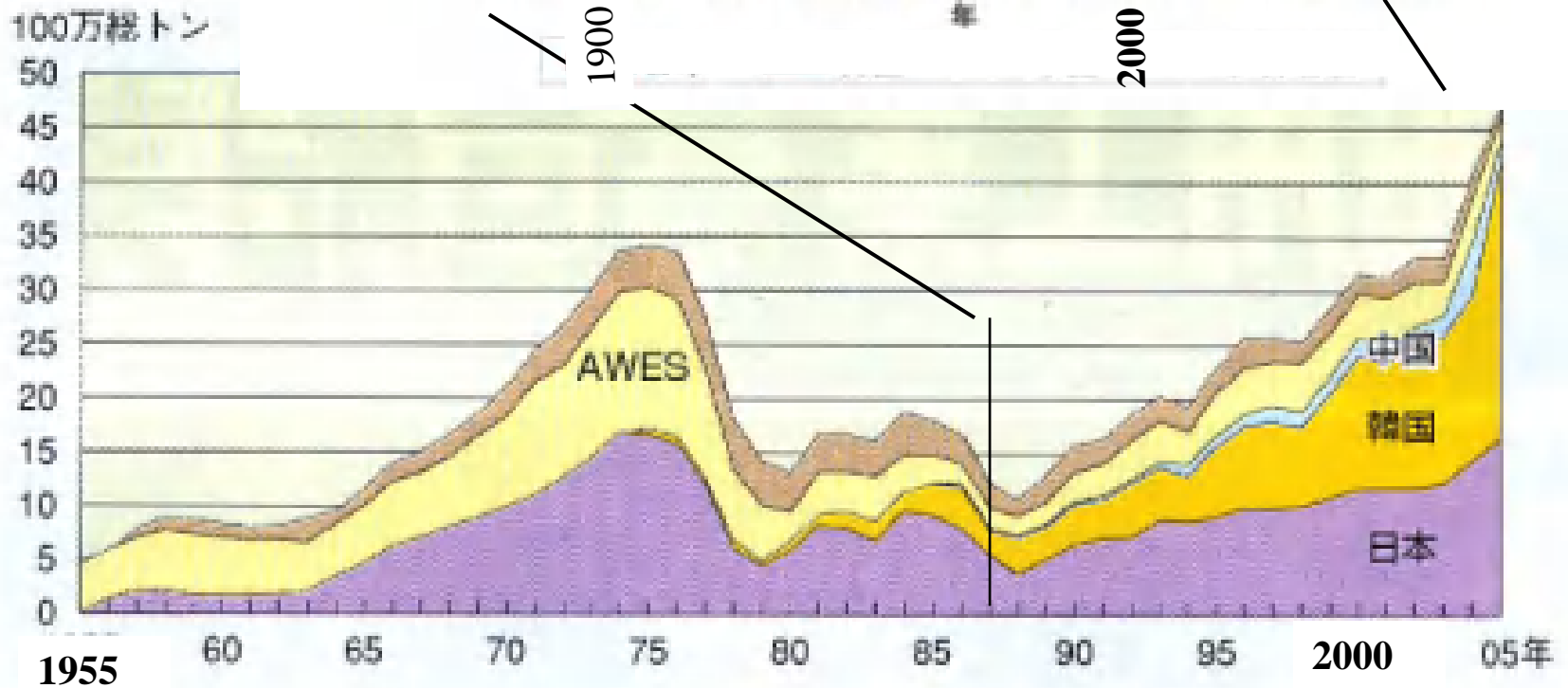
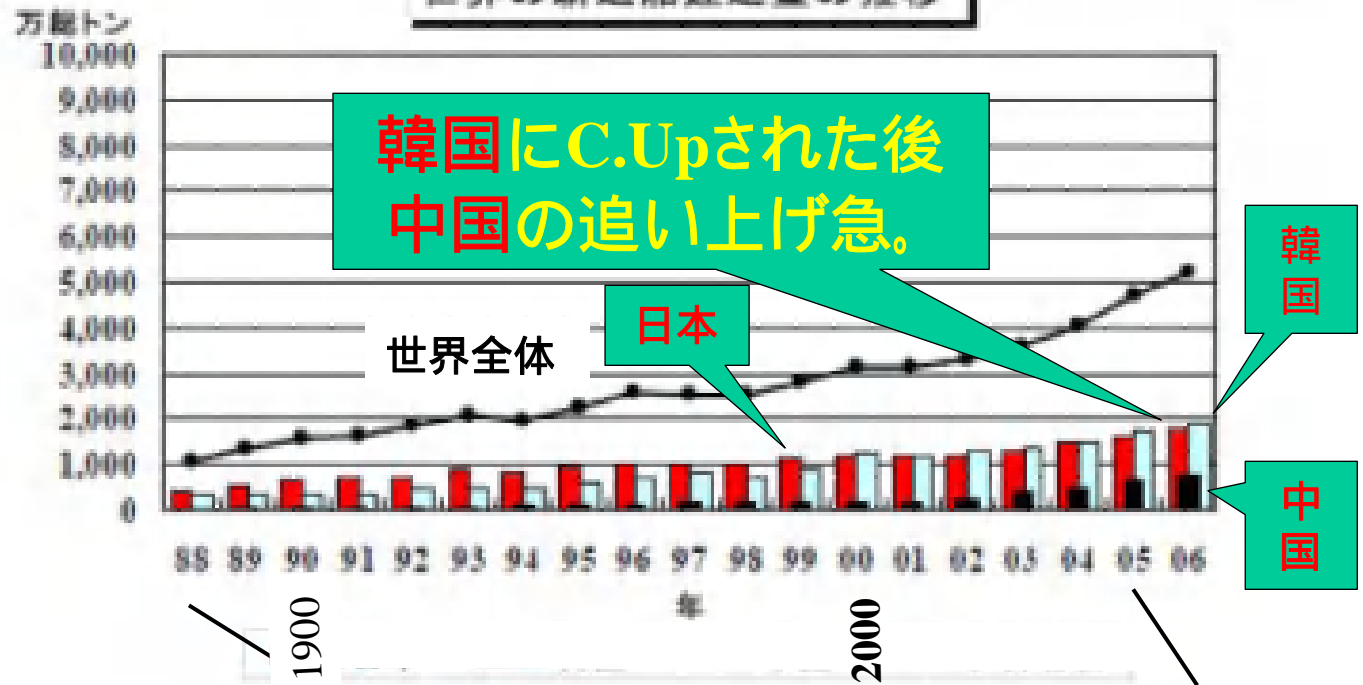
造船会社企業規模の相対的低下

## 船級協会の機能不全から Goal Based Standardへ

- 相次ぐ船体折損事故・・・ナホトカ号、  
エリカ号、プレステージ号
- 船級協会機能・・・ルール設計・検査の欠陥
- バルクキャリアーの沈没・・・  
長期・多数隻数
- 船級協会 の過当競争、不信
- ギリシャ船主等発言力 UP

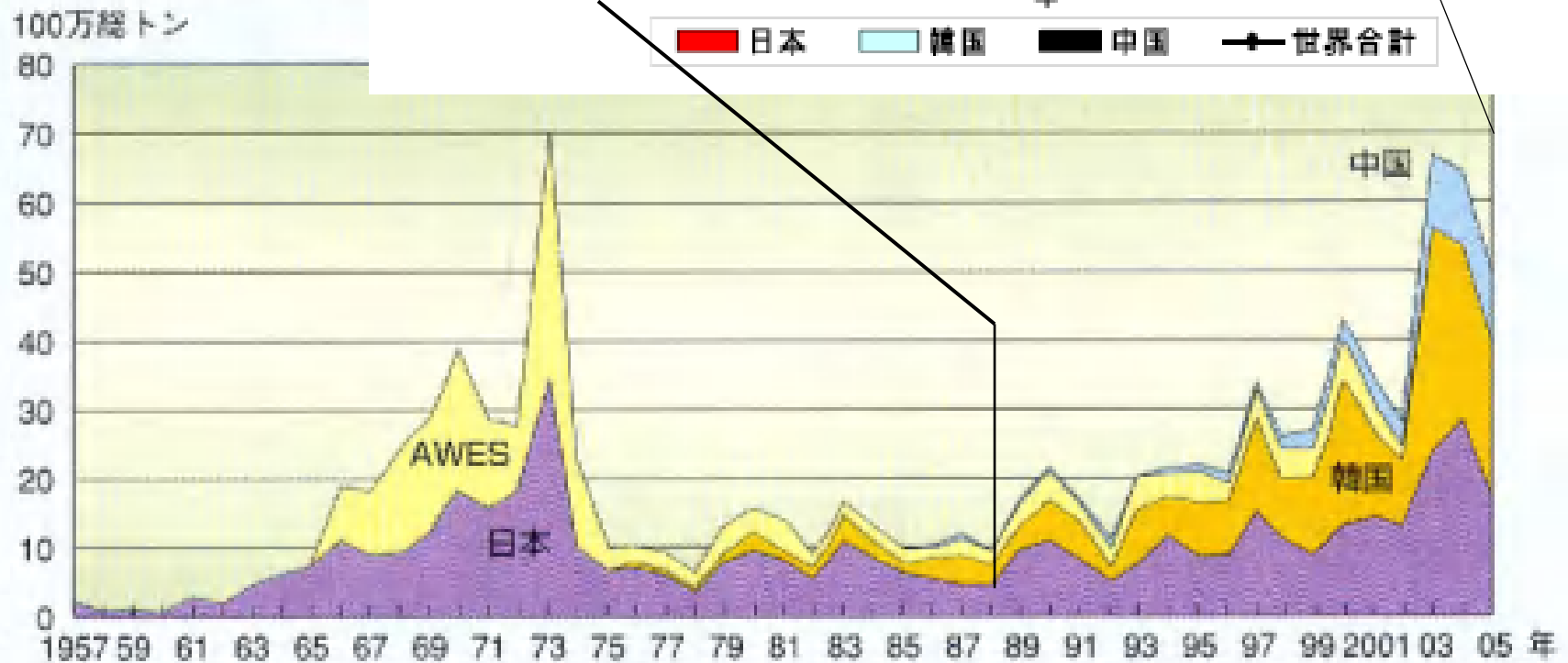
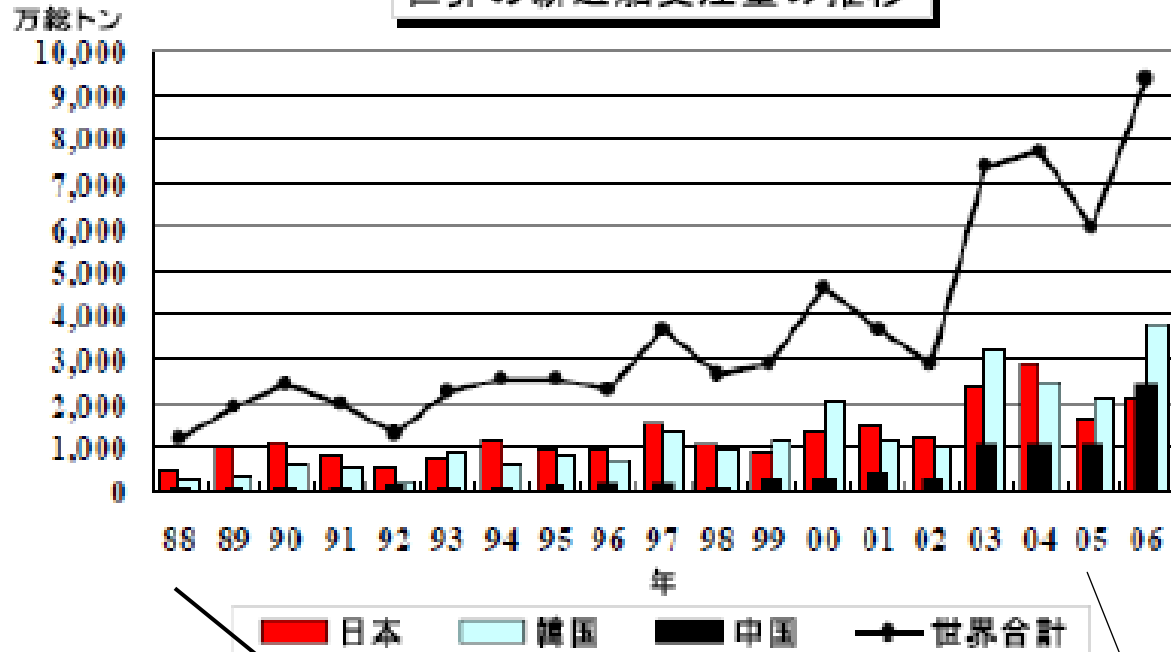
# 世界の 新造船 建造量推移 1955~2006

世界の造船建造量の推移



# 世界新造船 受注量の推移 1957～2006

世界の新造船受注量の推移



# 世界造船所の売上高 億円 2005年

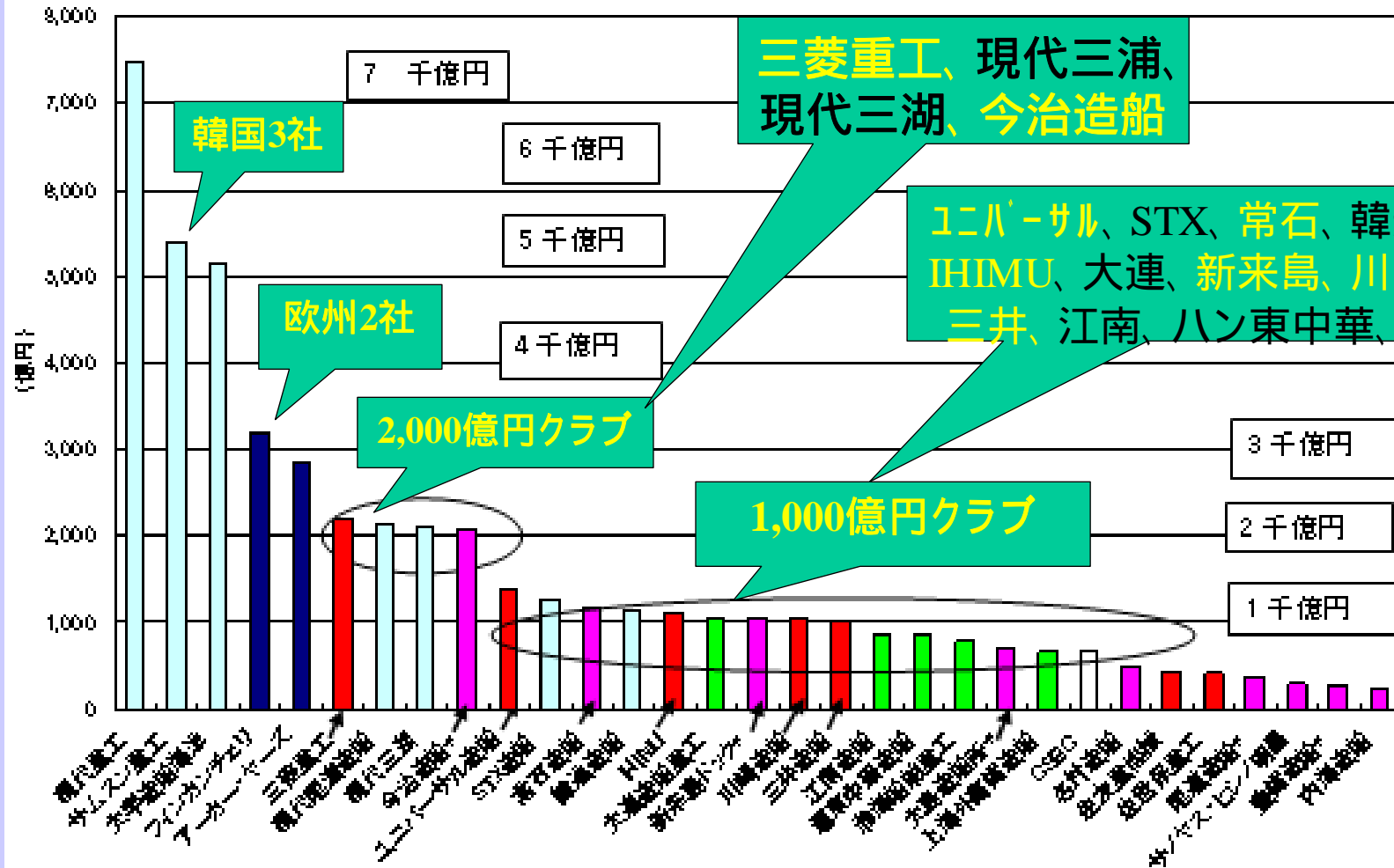


図 1. 世界主要造船所の造船事業売り上げ。2005 年度  
海軍プレス(横川氏の資料©)より作成 2006 岡本

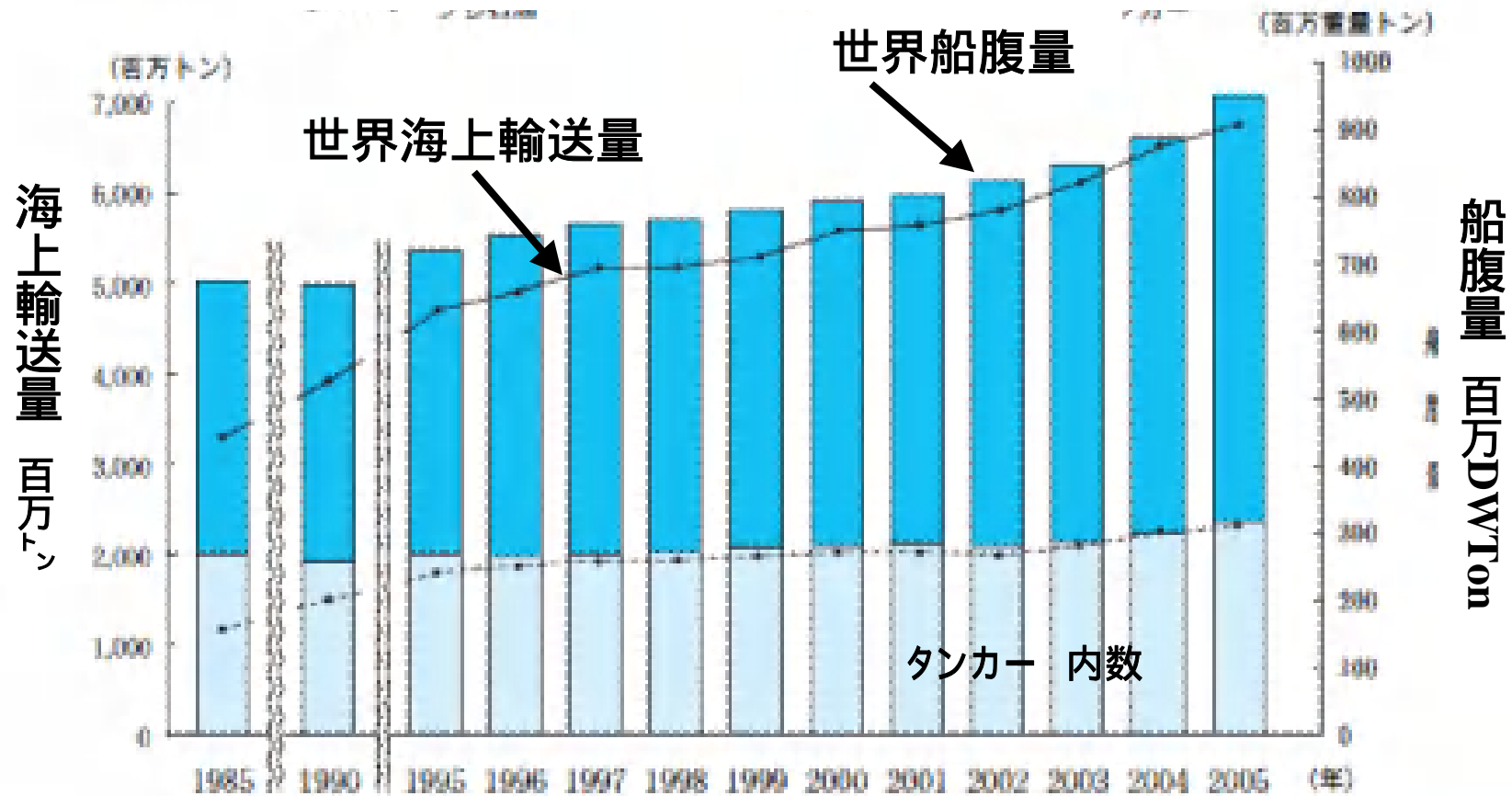
不都合な海事潮流

## 海運関連分野

- ・ 船社企業**規模格差**の拡大  
コンテナ取り扱い量 Maerskの突出、NYK 9位
- ・ 日本船社コンテナ**取り扱い比率**  
ステディな低下傾向
- ・ 海外船社の恵まれた**優遇税制** **税制格差**
- ・ 船員確保、マンニングの負担
- ・ 日本船籍船減少による**国際発言力低下**

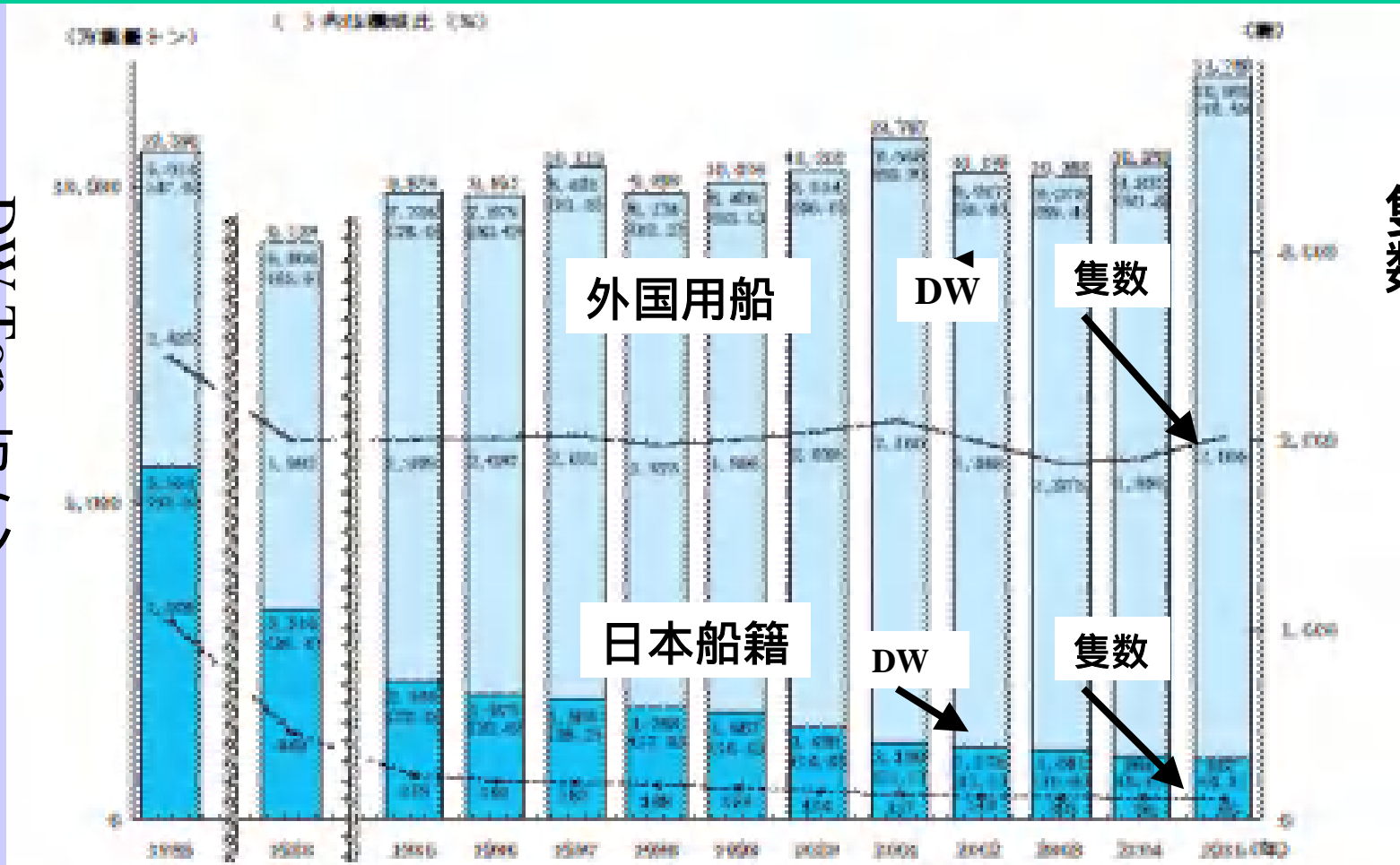


# 世界荷動き・船腹量推移 1985～2005



# 日本商船隊のDW.Ton と隻数推移 ~ 2005

DW.Ton 万トン

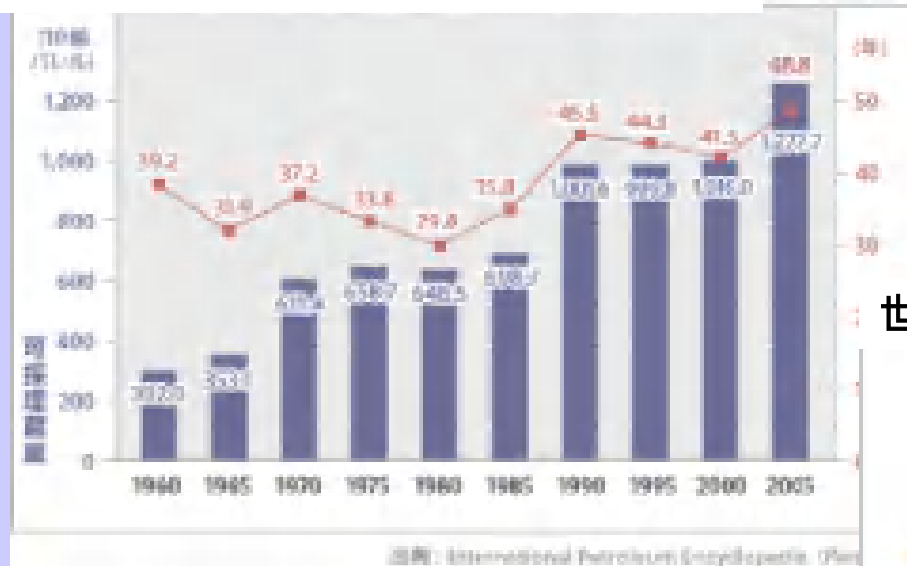


隻数

注) (1) 国土交通省「海運レポート」(海運統計「日本商船の概況」) 各年報による。  
 (2) 3万トン以上の外船に就航している船舶。  
 (3) 船隻の数である。

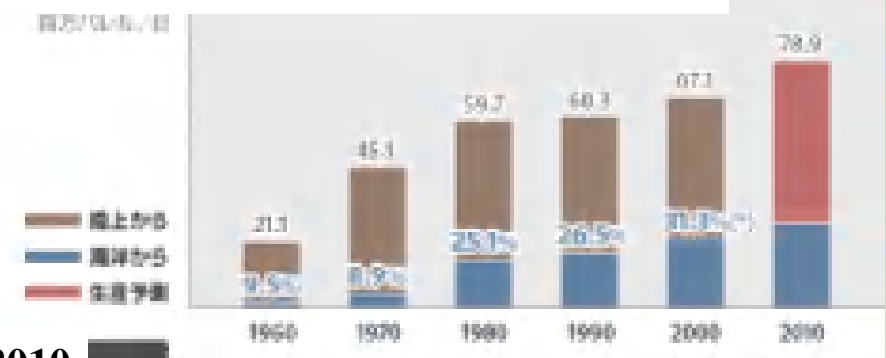
# エネルギー資源と開発推移

世界原油埋蔵量と可採年 1960～2005

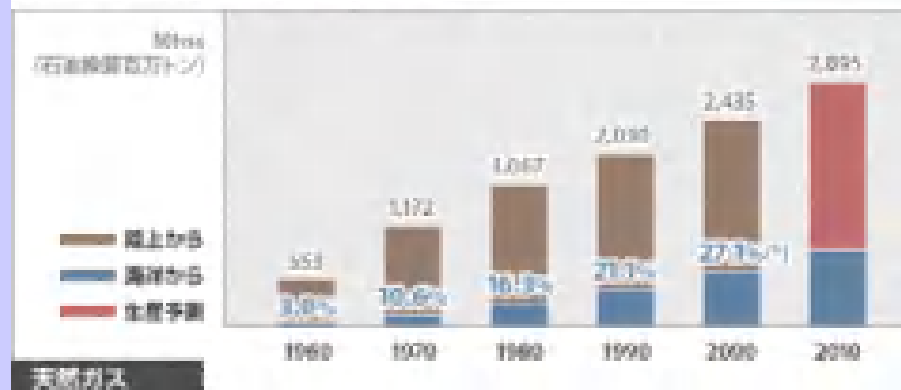


ステディな拡大基調

世界石油海陸別生産量 1960～2010



世界天然ガス海陸別生産量 1960～2010



1) 石油生産量 / International Petroleum Encyclopedia 2001 (PennWell)  
 2) 天然ガス生産量 / 同前  
 3) 石油埋蔵量と可採年 / International Petroleum Encyclopedia 2001 (PennWell)  
 4) 石油埋蔵量と可採年 / International Petroleum Encyclopedia 2001 (PennWell)  
 5) 生産予測 / World Energy Prospects to 2030 (IEA)

不都合な海事潮流

## 港湾関連分野

- 国際競争力を失った日本港湾
- 日本港湾のフィダー・ポート化
- 日本航路数の減少
- 海事ソフト力の低下と海事ネガティブ循環
- 海外港湾メガオペレーターの活躍との格差
- 構造改革へのシガラミ・ブレーキ
- 進行中の対策……スーパー中枢港湾

# 我が國の港湾のフィーダー港化

【フィーダーポート化のイメージ】

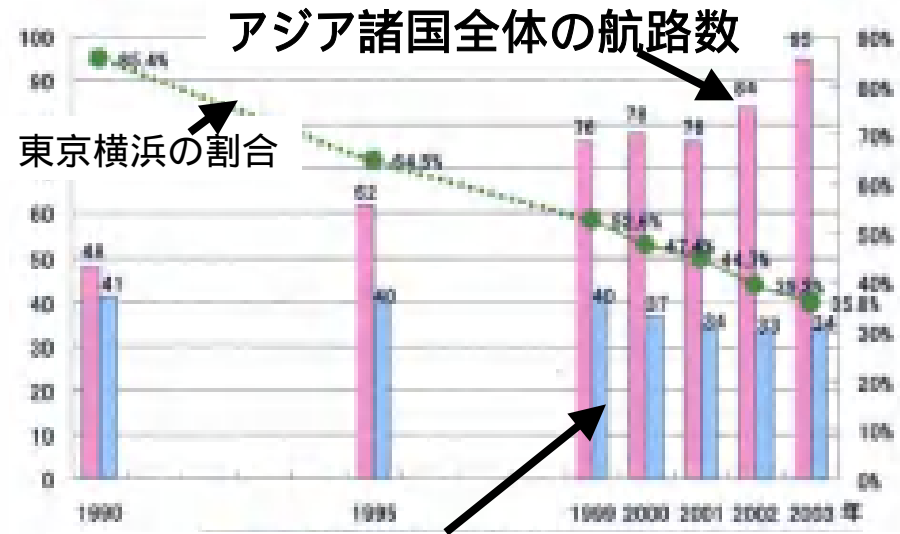


【完全フィーダーポート化時の影響】



出典:国土交通省作成

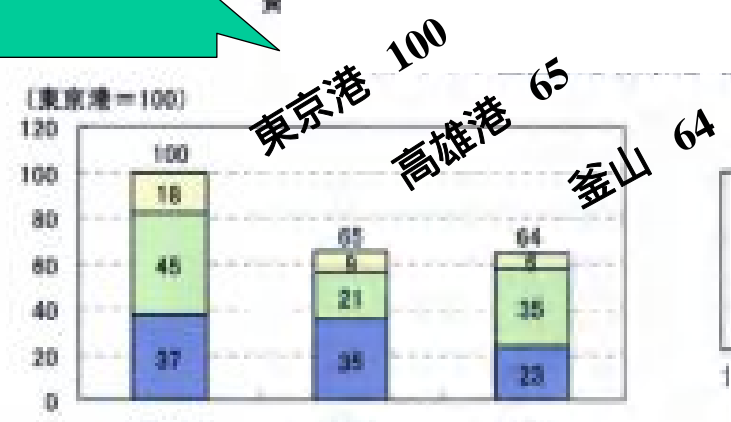
# 非効率な日本港湾



従って、航路数が減る

料金が高い

## 東京・横浜航路数の減少 ~ 2003



時間が掛かる

日本	: 約 2.4 日
シンガポール	: 24 時間以内
韓国	: 2 日以内

リードタイムの長い日本港湾

料金の高さ 東京=100

不都合な海事潮流

## 海洋関連分野

- ステディに増加するオフショア石油・天然ガスの開発・生産に対し**参入少ない日本**
- **オフショア技術**の蓄積の欠如
- 海洋機器ビジネスの好況から取り残されている日本——例外。健闘するファブレス企業

**三井海洋開発**



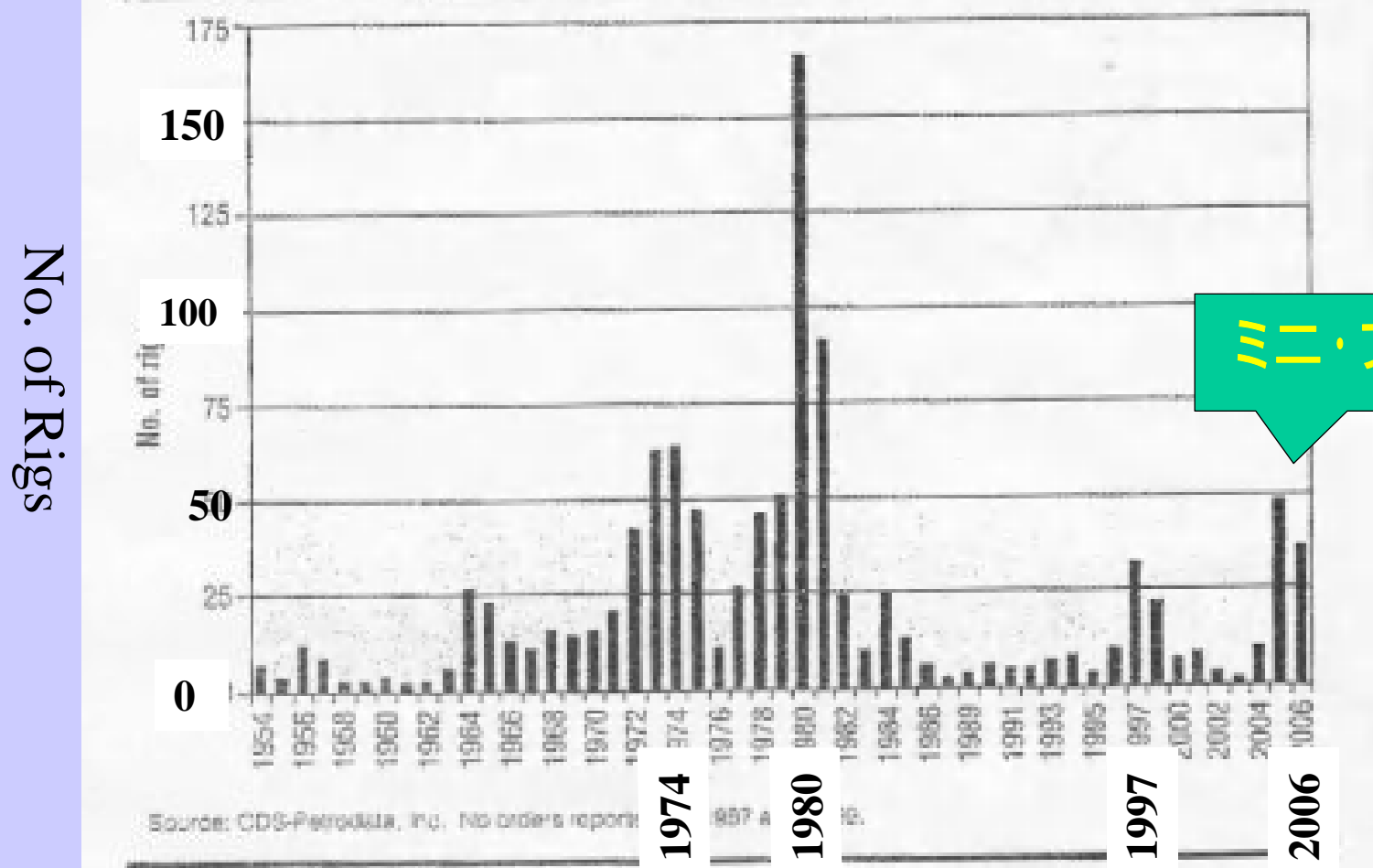
- **「ちきゅう」**の孤独な健闘

2007年通期予想売り上げ、三井造船、船1,954億円 三井海洋開発1,100億円

海及F 2007.3.9 同4 7F

# 世界のリグ建造数推移 ~ 2006

MODU orders 1954-2006 year- to- date



ミニ・ブーム



# OIL RIG 世界の受注・建造予定2006年現在

造船所よりの引き渡し暦年。隻数

Type	Rated Water Depth	合計	2005	2006	2007	2008	2009	2010年
Semi-sub	7,500ft 以上	18			2	7	8	1
	7,500ft 以下	113		45	31	31	6	
Drill Ship	7,500ft 以上	7			1	5	1	
	7,500ft 以下	4		2	1		1	
総計		142		47	35	43	16	1

「ちきゅう」を超えるD.Shipが7隻出来る

“Offshore” July 2006.により作成。岡本 洋(2006.11)。

『ちきゅう』の Rated Water Depth=7,500ft。(海洋開発機構の堀田平氏によ

**参考** 「ちきゅう」の Rated Water Depth 能力 (7,500 ft)で分類した建造予定GIG

# 発注済みRIG・DRILL SHIPの内訳 2006年現在

## RIG建造国と基数・隻数

国	RIG	Drill船
Norway	2	0
Singapore	11	0
中国	2	0
Spain	1	1
USA	1	0
韓国	9	6
日本	0	0

日本は蚊帳の外

## OIL RIG 発注基数とOWNER

Owner	Rig	Drill 船
Aker	2	0
ENSCO	2	0
Frigstad	1	0
Global SantaFe	1	0
Larsen Oil Gas	2	0
Maersk Contractor	3	0
MPF	0	1
Sea Drill	2	2
Seva Drill	1	0
Stena	1	0
Transocean	0	2
Viking	2	0
Odfjell Drilling	1	0
日本	0	0

“Offshore” July 2006 より作成。岡本 海友F 2007.3.9

# 流れを変えるには

- 戦略的、積極的取り組み・・・
- グローバルな潮流対応・・・
- 構造改革・・・
- 人材の育成・・・
- シニヤー 出来るのは・・・考察・助言

・・・**海国日本に幸あれ**・・・